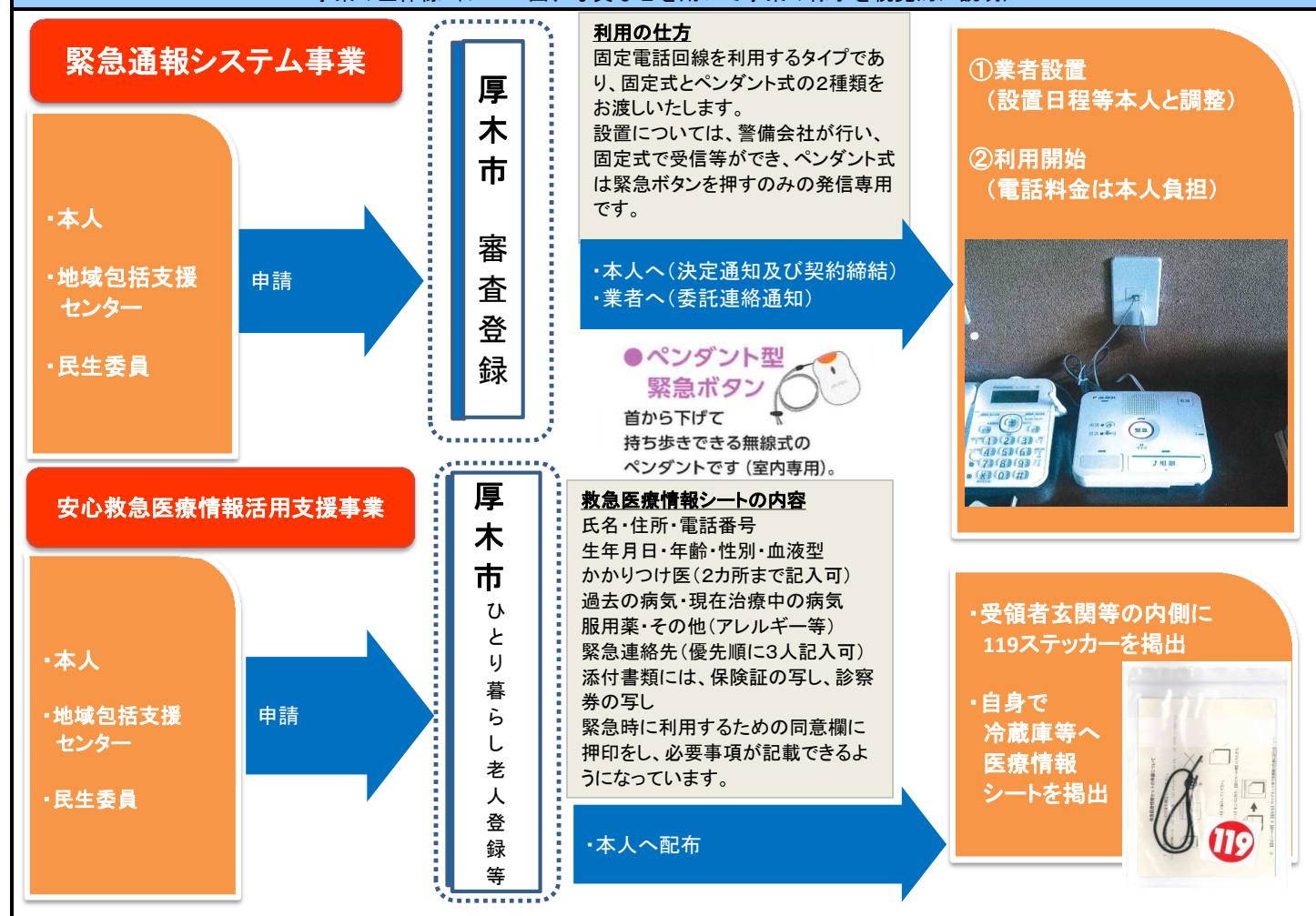


事業概要シート

担当部名	福祉部	事業名 (子事業名)	ひとり暮らし高齢者等支援事業
担当課名	介護福祉課	根拠法令・例 規・要綱・計 画等	厚木市緊急通報システム事業運営要綱
担当係名	高齢者支援係		厚木市救急医療情報セット配布事業実施要綱
事業開始年度	昭和60・平成22年度		
事業概要			
目的	ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に対して、住み慣れた地域で安心して在宅生活ができるよう、安否確認や緊急時の迅速な対応を目的に行うものです。		
対象	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの高齢者（65歳以上）（住基上13,225人） 高齢者（65歳以上）で構成される世帯（住基上13,004世帯） ひとり暮らし老人登録者（2,466人） 65歳以上の重度障がい者（身体障害者手帳1級（1,463人）又は身体障害者手帳2級（579人）） 重度障がい者（身体障害者手帳1級（2,171人）又は身体障害者手帳2級（955人））の方を含む世帯 ※重度障がい者とは、身体障がい者手帳1級又は2級で主に移動が困難な下肢の障がい者などです。 【人数は平成31年4月1日現在】		
事業詳細 (実施内容・実施手法等)	1 緊急通報システム事業 ひとり暮らしの高齢者で身体上慢性疾患等のため常時注意を要する状態にある方等に、緊急通報機器を貸与し、緊急通報があった際には、警備会社が救急車の手配、親族への連絡等、必要な措置を行います。費用については、緊急通報機器の設置や貸与、緊急時の対応については市が負担し、利用者は通話料のみの負担となります。 2 安心救急医療情報活用支援事業 ひとり暮らしの高齢者等が救急車を要請した際、救急隊員が医療情報を活用することにより、迅速かつ適切に処置が行えるよう「救急医療情報キット」を無料配布します。救急医療情報については、緊急連絡先やかかりつけ医、持病、投薬情報などが記載できるようになっています。		
事業の効果	ひとり暮らしの高齢者で身体上慢性疾患等のため常時注意を要する状態にある方等に、緊急通報システムや救急医療情報セット配布サービスを提供することにより、安心した在宅生活を送ることができます。		
事業周知方法 ・内容	<ul style="list-style-type: none"> 広報あつぎや市ホームページに掲載 地域包括支援センター職員が「ひとり暮らし老人登録」の際に口頭で説明 65歳到達時（介護保険1号被保険者）に介護保険証の送付の際「高齢者福祉サービスのご案内」リーフレットを同封 		

事業の全体像（フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明）



指標名	緊急通報システム利用者数				成果指標の推移グラフ		
指標の説明	ひとり暮らし老人登録者のうち1割の方を目標値とした利用実績との割合				<p style="text-align: center;">利用者数推移</p> <p style="text-align: right;">単位(人)</p>		
目標	件	228	235	242			247
実績	件	120	125	122			
達成率	%	52.6%	53.2%	50.4%			
指標備考	実績件数については、各年度末の利用件数						

事業のコスト				
コスト	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算見込み）	令和元年度（予算）
	事業費	24,404	16,746	2,271
	人件費	2,875	2,875	
	経費総額	27,279	2,875	

人件費内訳	平成29年度人件費内訳（単位：千円）			平成30年度人件費内訳（単位：千円）		
	行政職1	@ 8,610 × 0.32 人 =	2,755	行政職1	@ 8,651 × 0.60 人 =	5,191
	行政職2	@ 8,472 × 人 =	0	行政職2	@ 8,726 × 人 =	0
	消防職	@ 8,719 × 人 =	0	消防職	@ 8,783 × 人 =	0
	再任用	@ 3,716 × 人 =	0	再任用	@ 3,304 × 人 =	0
	臨時職員	@ 1,197 × 0.10 人 =	120	臨時職員	@ 1,110 × 人 =	0
	その他	× 人 =	0	その他	× 人 =	0

事業費及び財源内訳 (千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H29（決算）	24,404	24,404	0	0	0
	H30（決算見込み）	16,746	16,746	0	0	0
	R01（予算）	2,271	2,271	0	0	0

事業費内訳	【令和元年度予算の内訳】 ・緊急通報システム事業委託料 @850件（延べ利用世帯）×1,200円×1.08=1,101,600円（4月～9月分） @850件（延べ利用世帯）×1,200円×1.1=1,122,000円（10月～3月分） ※利用世帯数×6か月 ・救急医療情報セット 119番シール @25円×1,500枚×1.08=40,500円 つづり紐 @600円×10セット×1.08=6,480円
-------	---

①市民要望 ②社会的要請 ③課題	①市民要望 市民の方からは緊急通報システムがあることにより、安心して生活ができるとの御意見をいただいています。また、病院や消防、民生委員児童委員からは、救急医療情報が確認しやすいとの御意見をいただいています。 ②社会的要請 超高齢社会に伴い、緊急通報システム並び救急医療情報セットの利用者は、今後も増加するものと考えています。 ③課題 本事業のサービスが必要と思われる方の把握が重要であると考えています。
------------------------	---

上記課題等への対応や見直しの方向性	民生委員児童委員や地域包括支援センターとの連携を強化し、ひとり暮らし老人登録等の推進を図るとともに、対象者の状況把握に努め、各サービスの提供に努めます。
見直しの有無	有

直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	本事業において配食事業を実施していましたが、食事を届けるサービスが民間で広く普及してきたこと、また、地域における見守りサービスが充実し、当初の目的が達成されたことから、平成30年度に配食事業を廃止しました。
-----------------------	---

近隣自治体の状況	・緊急通報システム事業については、相模原市、平塚市、秦野市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市の8市で、同様の事業を実施しています。
----------	--